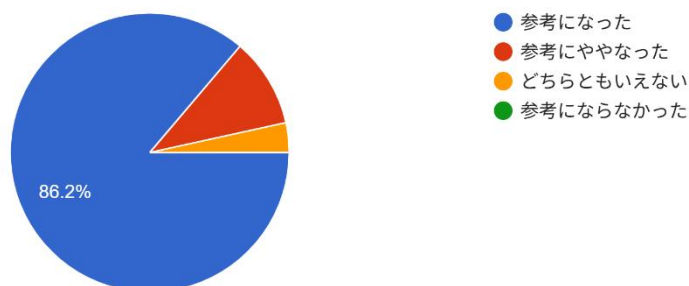


### 10月22日開催研修の事後アンケート結果

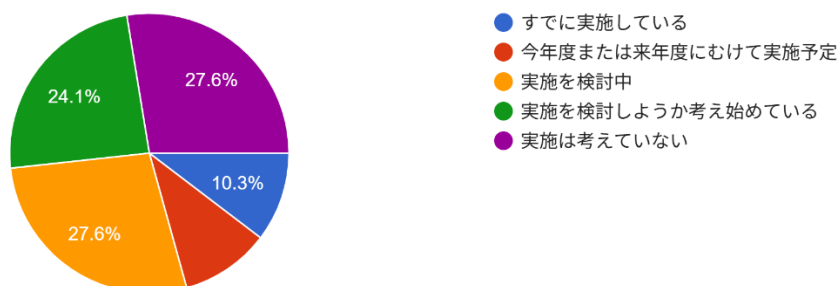
研修内容は参考になりましたか？

29 件の回答



こども誰でも通園事業についてお伺いします。

29 件の回答



### 〇感想

- こども誰でも通園制度について自分なりに調べ学んでいましたが、高辻先生の講義でより理解が深まりました。子どもの育ちの為に制度ということで、より専門性を発揮するための研修プログラムの構築に期待をしたいと思います。
- 研修ありがとうございました。保護者支援も考えながら、子どもたちが健やかな成長ができるようサポートしていきたいと感じました。保育園内の虐待等、線引きが難しい部分もありますが望ましくないことは行わない。と徹底していきたいです。
- 研修に参加させていただきありがとうございました。こどもの育ちを応援することが目的であるため、少しでも受け入れ皿が多くあると良いかと思います。この数年、夏は暑さが厳しく、外へは出られない、子どもたちが遊べる場所も制限され、親子で引きこもる時間が増えている中、地域の園で過ごすことができるということは、地域との繋がりがもて、安心して子育てができると思います。しかしながら、園の現状は一時保育の受け入れもままならないため、今現在受け入れは難しいです。小規模園であるため、子育て広場はありませんが、園庭解放を始めました。今回研修でお話しをお聞きし、自園でできることは他にないかと考える機会となりました。

- これまでは、子どもにとって本当に良い制度なのかという疑問や、現場の負担が増すことへの懸念が多々ありました。しかし、高辻先生のお話を通じて、制度の目的や趣旨をしっかりと理解することができました。子どもの育ちのための制度であるからこそ、本来の趣旨とは異なる目的で利用され「サービス」としての認識が広がってしまうことのないように、国や行政には丁寧な発信・対応をお願いしたいです。また、専門職の育成や配置も今後の重要な課題だと感じました。特に、在園児とは異なり、顔の見えにくい保護者への「親子支援」をどう実現していくかについては、保育とはまた別の専門性が求められると思います。保育士だけでは対応が難しいケースもあるため、関係機関との連携体制の構築も必要だと思いました。質問の時間があれば、保育士の確保が厳しい中で、1歳児配置加算との両立がどのように設計されているのかを伺いたかったです。また、感染症など園側の事情で当日キャンセルとなった場合の制度上の扱いや、親子支援として重要となる通園前後の保護者対応（面談・相談など）が「1時間単位の設定」の中でどのように位置づけられるのかなど、運営面の細部についても、自治体と協議・提案していく上で知りたかったです。
- 経緯がわかり考え方もわかりました。
- ボリュームがあるから仕方ないですが、聞きながら聞く余裕もない感じでした。
- 本日の研修ありがとうございました。今後は職員と子どもの人数調整や環境構成等を考慮しながら前向きに検討していきたいと思います。
- とても分かりやすかったです。
- 子どもの育ちや、専門性を活かした保育の提供をするための制度ということがわかりやすく説明して頂けた。実際受け入れにあたってはどのような準備が必要か（研修を受けたものだけが保育できるのか、保育士の人数、クラスにどのように受け入れるか等々）はまだ疑問点が残りますが・・・
- 子ども誰でも通園制度、子育て広場でできてしまうのでは？と思いながら制度として進めないに進まない施設もあるんだろうなと思ったり、どこまで利用者がいるのか見えないから不安に思ったりしました。
- こども誰でも通園事業の趣旨には賛成であるが、園の運営を考えると保育士に余裕がなく実際に受け入れを行った時のデメリットを考えざるを得ない。この事業を行うことで園に入る補助金がこども誰でも通園事業専任の職員を採用できるほどのものならば、すぐにでも受け入れをしたいところである。また、今後この制度が入園に際して必要になるという話も耳に入っているのも、もう少し動向を見てみたい。
- とてもわかりやすく、あっという間の時間でした。今後、誰でも通園制度の理解を得るために当園職員へ熱く語りたいと計画中です。高辻先生におかれましては、お忙しい中、相模原市私立保育園・認定こども園のためにご尽力いただき感謝お伝えいたします。調査研究部の皆様にも旬な研修を企画いただきお礼申し上げます。ありがとうございました
- 子供誰でも通園制度がどうして始まろうとしているのか、国の政策の意図が理解出来ました。保護者の為のものではなく、すべての子供の育ちを応援するものであることが改めて、わかりました。子供誰でも通園制度と一時預かりの違いも理解できた気がします。ただ、我が園で実施するとなると、人材の確保や場所など、様々な問題が発生すると考えます。そのことを職員同士で話し合い、どうやったら実施できるのかを考えて行きたいと思いました。
- どのようにして、進められて行くのかよくわかりました。

- ・こども誰でも通園制度について、まだ理解できていない部分もあります。話を伺って実施することによる、保護者やこどもの利益が理解出来てきました。
- ・こども誰でも通園制度についてとても分かりやすかった。保護者向けの制度とならないよう親子の関係性を育てるために求められる専門性が必要となり、こどもにとっての制度となるよう、制度の趣旨や目的についての自治体、事業者、保育者、保護者の共通理解必要と感じた。
- ・誰でも通園制度の意図やしくみがわかりました。ありがとうございました。
- ・こども誰でも通園制度の仕組みについて、まだ不明な点が少々あったが理解を深められた  
制度設計からの経緯や運用の条件など具体的かつ、基本的な内容に絞った解説がわかりやすかった。運用していない制度についても、こういった研修で基本を知ることによって現状から変化があった際に運用を検討できるので、毎年継続して開催する価値は高いと感じました。
- ・とても分かりやすく説明していただけたので、今後実施に向けて考えていきやすくなった  
新しい情報は少なかったですが、改めて事業の内容を理解することができました。一時預かり事業を実施していますが、誰でも通園制度の「こどもの育ちを応援する」という主な目的と変わらないと感じています。現状は一時預かりで精一杯の為、職員を増やして保育の質も確保できる環境が整えられれば実施したいと考えています。
- ・レジメがわかりやすく今後も資料として活用させていただきます。
- ・すごく分かり易かった
- ・保育現場の負担感と制度を取り入れた時の線引きの難しさを感じました。
- ・とても分かりやすく参考になりました
- ・こども誰でも通園制度の意義など改めて理解できました。なぜこの事業をするのか…主旨などを職員間で共通理解をしていきたいです。
- ・誰でも通園制度について改めて学びました。利用児は毎回笑顔で登降園してくれています。親の子育て、子の育ちになるように引き続きしていこうと思いました。担当者に研修が必要になってくると、時間調整を考えなければならないと思いました。
- ・こども誰でも通園制度の理解を深めるために研修参加しました。一時保育との違いをどのように捉えていくかなど、実際に行えるかを判断したかったのですが、再確認が出来たので、環境や体制を整えて制度の目的を理解しながら進めたいと思いました。現状の時間では難しいのではないかと思います、今後の醸成を見ながら対応していきたいと思いました。
- ・2024.7月から実施しているが実績は0人である。しかし11月から0歳2名が利用を開始する。受け入れ前のタイミングでこの研修があって良かったです。「こども誰でも通園制度」について既に忘れかけている職員に説明するにあたり、・現代の親子の状況・親子の育ち・親子の関係性を育てるために求められる専門性・・・等々お話しも資料もわかりやすかったです。

以上

## ○どのような制度の研修テーマに関心がありますか？

- ・人材育成について
- ・働き方
- ・制度ではありませんが、小規模園での誰通の受け入れ実績や卒園後の学童保育施設の現状などについて知る機会があるとよいです。
- ・次期教育・保育要領改訂に向けた動向 「こども誰でも通園制度」も後押しとなり、日本の保育利用の傾向は今後どうなっていくのか
- ・園長、職員が共にスキルアップ出来るような内容。
- ・リスク管理、安全対策
- ・制度ではありませんが、虐待や不適切保育についてそうならないための方法、事例などが聞ける研修があればありがたいです。
- ・保育多機能化
- ・今後の子ども子育て支援制度について
- ・区分手当の配分について
- ・保育士の手当についての制度
- ・不適切保育について
- ・保育の質向上・職員の意識の向上を組織的にすすめるには。
- ・地域子育て支援拠点について
- ・地域交流・支援 地域に求められていること
- ・園長・主幹の立場で、組織としてのマネジメントの方法
- ・新処遇改善制度の基本と活用事例など
- ・新処遇改善について詳しく具体的に知りたい
- ・「・虐待」「不適切な保育」の概念が再整理されたことについて
- ・保育士の役割・業務の削減について
- ・不適切な保育・苦情解決など
- ・保育の質の向上
- ・防犯について
- ・相談拠点、子育て支援センターも含めた相談機能や連携
- ・処遇改善加算について、給与・賞与・配分の仕方など
- ・今の所特にありません。4件